

東京都の連続立体交差事業の動きについて

1 東京都より、以下のとおり情報提供があった。

1) 東京都が、連続立体交差事業の新規着工準備採択を国に要望

○東京都は、「踏切対策基本方針」における「鉄道立体化の検討対象区間」20 区間のうち骨格幹線道路と交差し、まちづくりへの取組の熟度も高い、京王京王線の代田橋駅～八幡山駅間と西武新宿線の中井駅～野方駅間について、新規着工準備を採択するよう国に要望した。

○また、この 2 区間の事業化に向け、鉄道を高架化するか地下化するかなどの構造形式の検討などを近く始める。

2) 西武新宿線の野方駅～井荻駅付近

○東京都は、2 区間以外についても、引き続き、事業効果等の調査を進め、事業中箇所を進捗状況などを踏まえながら、事業化に向けて積極的に取り組んでいく。

3) 東京都の現在の検討状況と今後の予定

・新規着工準備採択を要望した区間については、今後実施する連続立体交差事業調査の中で構造形式や事業区間などを検討していくため、現時点では具体的な内容は決まっていない。

・国に採択を要望した段階であるため、今後のスケジュールは未定。